

6 最終候補地調査結果



最終候補地調査結果



最終候補地調査について

1. 目的

中間処理施設と最終処分場の調査対象地に対する最終候補地調査が、それぞれ複数箇所となるため、「施設整備の実施に当たり影響を及ぼすことが想定される要因等を事前に把握し、その対策を講じる」ことに加え、「施設の特性に応じた調査を実施し、候補地としての優位性を判定する」ことを目的とした。

2. 調査内容

最終候補地において施設が立地した場合の環境影響は、施設の特性（さらにはこれまでの対策事例）から、主な環境影響項目として、中間処理施設は、大気汚染、騒音・振動、景観を、最終処分場は、悪臭、水質、景観とし、最終候補地別に環境影響予測等予備調査を実施するものとした。また、環境影響予測を行うにおいては、地域の状況を把握することが必要であるが、既往調査結果において把握が困難と考えられるものについては、施設特性に応じた現地調査を実施した。

表 1 調査目的及び調査内容（中間処理施設）

環境影響予測等予備調査項目	調査目的	調査内容	調査結果	
			尾高・日下	彦名町
1)生物調査	<ul style="list-style-type: none"> 尾高・日下でクマタカ（鳥取県特定希少野生動物）の目撃情報があることから、生息状況確認のためクマタカを中心に生息状況調査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 生息状況調査：令和4年12月14日～16日 8:15～16:30（3日間） 定点観察（米子市水道局日下水源地敷地内）及び移動観察（公道上）を実施。 	4ページ	-
2)大気	<ul style="list-style-type: none"> 各最終候補地周辺の土地利用状況及び風況を把握。 定量的予測（大気拡散計算式）への反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 風向及び風速の現地調査：令和4年12月23日～1月22日（1ヶ月間） 調査結果を踏まえ大気拡散計算式による定量的予測実施。 施設立地後の煙突排ガスによる影響度合いを考察。 	5～7ページ	
3)悪臭			8ページ	

(表1の続き)

環境影響予測等 予備調査項目	調査目的	調査内容	調査結果	
			尾高・日下	彦名町
4)騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> 各最終候補地周辺の土地利用状況の把握。 定量的予測（距離減衰式）への反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の土地利用等を踏まえ、距離減衰式による騒音・振動レベルの定量的予測を実施。 	9 ページ	
5)景観	<ul style="list-style-type: none"> 景観の変化度合い把握（地域を代表する眺望点及び日常の生活の場の眺望点）。 	<ul style="list-style-type: none"> フォトモンタージュによる将来予測を実施。 	10～12 ページ	
6)交通量	<ul style="list-style-type: none"> 派生(新たな)交通量による既存交通への寄与度合いの把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量データ（既存資料）整理、派生交通量の予測。 施設立地後の既存交通への寄与度合いを考察。 	13 ページ	

表2 調査目的及び調査内容（最終処分場）

環境影響予測等 予備調査項目	調査目的	調査内容	調査結果	
			新山・ 陰田町B	尾高・ 日下B
1)生物調査	<ul style="list-style-type: none"> 尾高・日下Bでクマタカ（鳥取県特定希少野生動物）の目撃情報があることから、生息状況確認のためクマタカを中心に生息状況調査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 生息状況調査：令和4年12月14日～16日8:15～16:30（3日間） 定点観察（米子市水道局日下水源地敷地内）及び移動観察（公道上）を実施。 	-	14 ページ
2)大気・悪臭	<ul style="list-style-type: none"> 各最終候補地周辺の土地利用状況及び風況を把握。 定性的予測（ビューフォート風力階級表作成）への反映。 	<ul style="list-style-type: none"> 風向及び風速の現地調査：令和4年12月23日～1月22日（1ヶ月間） 調査結果を踏まえビューフォート風力階級分けによる定性的予測を実施。 施設立地後の粉じん又は悪臭の飛散による影響度合いを考察。 	15 ページ	
3)騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> 各最終候補地周辺の土地利用状況の把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 各最終候補地が周辺宅地から見通せないことを確認。 	16 ページ	
4)景観	<ul style="list-style-type: none"> 景観の変化度合い把握（地域を代表する眺望点及び日常の生活の場の眺望点）。 	<ul style="list-style-type: none"> フォトモンタージュによる将来予測を実施。 	17～18 ページ	

(表 2 の続き)

環境影響予測等 予備調査項目	調査目的	調査内容	調査結果	
			新山・ 陰田町 B	尾高・ 日下 B
5)水質	<ul style="list-style-type: none"> 各最終候補地周辺水域の水質現況、水利用状況把握。 河川水質に係る定量的予測（混合希釈式）への反映。 農業用水利用への影響把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 河川水量及び水質調査：令和 4 年 12 月 13 日（1 日間） 河川水量及び水質調査結果を踏まえ、混合希釈式による将来河川水質に係る定量的予測を実施。 農業用水利用への影響度合いを考察。 処理水迂回対策を検討。 	19～20 ページ	
6)地下水流向・ 井戸	<ul style="list-style-type: none"> 米子市地下水源地への影響検討。 農業用井戸等の有無把握。 	<ul style="list-style-type: none"> 地下水観測井設置：令和 4 年 12 月 16 日～1 月 18 日 地下水流向調査：令和 5 年 1 月 19 日～1 月 20 日（2 日間） 調査結果を踏まえ米子市地下水源地及び農業用井戸等への影響を考察。 	21 ページ	

